

8000食の巨大給食センター!?

2つの巨大 給食センターに

旧大分市内の小学校と、東部5中学校、大南4中学校では、それぞれの学校で給食をつくっています。これを佐賀関、野津原の小中学校、旧大分市内の中学校の給食を2つの給食センターでつくりたいと計画されています。東部共同調理場は、再来年

(仮称)東部共同調理場とは?

(教育委員会の説明概要)
上野共同調理場、佐賀関共同調理場の老朽化が著しく建てかえが必要。しかし都市計画の用途地域の関係などで、現在地での建て替えが困難。そこで「大分市学校給食基本方針」にもとづいて、東部地区の5中学校の単独調理場も廃止し、13中学校と佐賀関4小学校をまかなう約8000食規模の新共同調理場を建設、各校に配送する。これまでの配送部門の民間委託だけでなく、調理部門なども民間委託する。

度からの稼働にむけて、用地買収、基本設計などがすすめられています。

こうした計画に「ただお腹がいっぱいになればいいというものではない。教育の一環として実施して実施してほしい」など、巨大給食センターへの疑問や建設反対の声がひろがっています。

南部・大南は

23年度から?

植田と明野の2共同調理場の建てかえにともない、自校方式の大南地区の中学校、野津原の小中学校を含むエリアで、巨大給食センターを、23年度から稼働させる計画があることを、学校整備部長があきらかにしました。

党議員団

見直しを要求

党議員団は、「『行政改革』のかけ声のもとで教育的観点の後退、効率性を優先したもの」と指摘し、計画の見直し、情報の

公開、関係者への説明責任を果たすことを求めて、教育長に申し入れました。



申し入れする議員団・広次↑

広次忠彦市議の談話

以前2万食をつくるセンターが全国で15カ所ありましたが、現在では1カ所だけです。大量調理の問題が指摘されてきたからです。巨大給食センターは「冷凍食品の倉庫ざらえをしているようなもの」という指摘もあります。

「食育」の充実という点からも自校方式こそ、求められています。ごいっしょに給食センター問題を考えていきましょう。

活動トピックス

5月30日

乳幼児の医療費無料の保護者負担問題で、市長に申し入れました。(堤菜三前県議も同席)



申し入れする議員団・広次↑

国保税の減免申請をしませんか

とき 6月30日(金) 1:00~

ところ 市役所本庁8階・大会議室

主催 国保を考える大分市民の会

※最初に、国保問題にかかわる要望をおこないます。その後、減免申請をします。みなさんの声をとどけましょう。